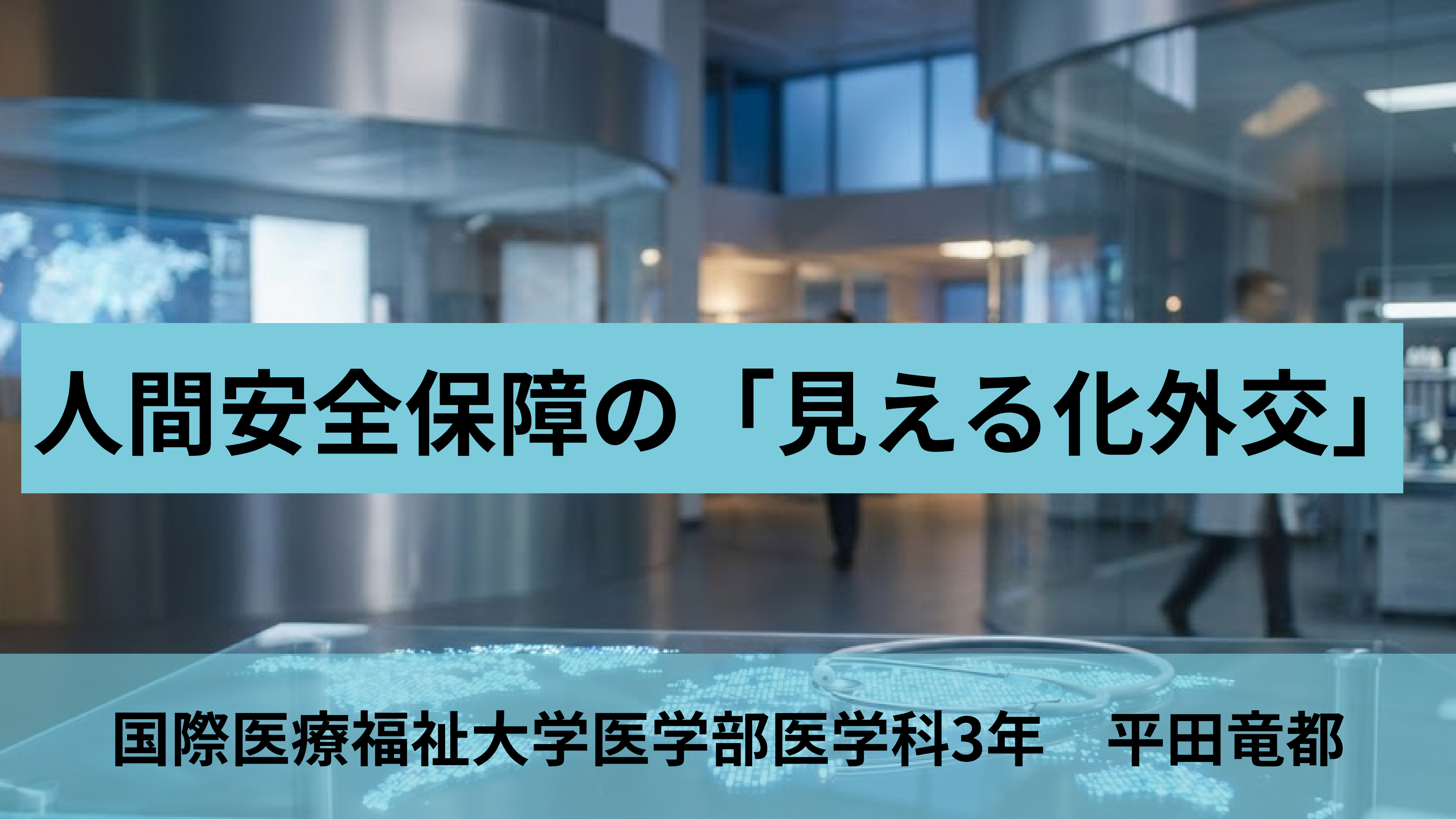




人間安全保障の「見える化外交」

国際医療福祉大学医学部医学科3年 平田竜都

2025年8月TICAD9（第9回アフリカ開発会議）開会式での Gaviへの拠出表明（今後5年間で最大810億円）

Gavi ワクチンアライアンス

- 2000年に設立
- ワクチン製造企業と交渉し、大量購入することで安価でワクチンを調達し、低所得国の子どもたちにワクチンを届ける官民パートナーシップ
- 新型コロナワクチンへの公平なアクセスを確保めざす国際的枠組みであるCOVAXファシリティの事務局としても活動（2023年に終了）
- 日本は2011年より資金拠出を実施



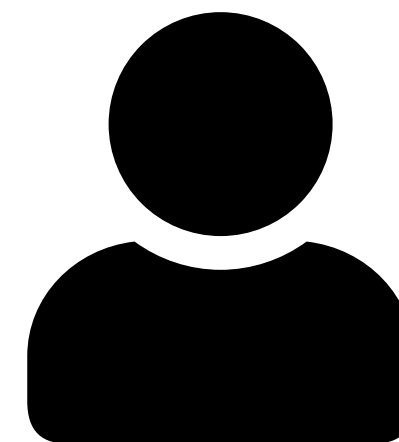
出典：外務省HP

ワクチンがあれば助かる命

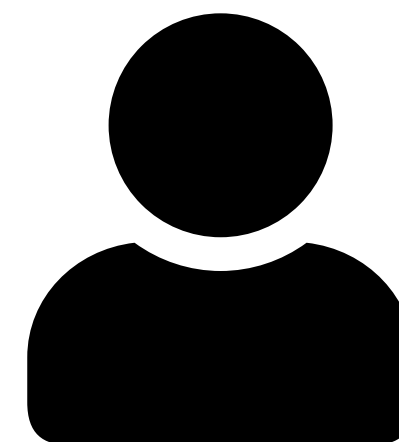


課題

国民の声



日本国内の課題がたくさんあるのに海外を支援している余裕は日本にはない



日本は海外にお金を捨てているも同然だ

日本のODAが継続的に行われている理由が国民に十分に伝わっていない

2つの構造的課題が存在

拠出額算出根拠の不透明さ

具体的にどの事業にいくら必要なのか
日本の財政状況を反映しているのか

一般に公開されていない

国民は国会での予算の議論が十分にされないまま決定されているように感じている

拠出成果の不透明さ

日本の拠出によって何人の子どもが救われ、どの程度疾病負担が軽減されたのか

日本企業や日本の技術の展開にも
結びついているのか

定量的な指標や物語性を伴った形の両方で十分に提示されていない

人間の安全保障を2つの側面から可視化する

数字

■ 抛出新評価書の公開

国際的要請額の中で日本が担う適正な割合
過去の抛出新によるDALYsの減少や経済効果
国家予算全体の中での位置づけ

■ 独立した委員会による抛出新評価

DALYs、医療費削減、労働生産性向上など
も含めた成果を検証

物語

■ 支援を受けた子どもたちの視点

どの地域に住む子どもたちがワクチンのおかげで病気にかかることなく健康に生活できるようになったのか

■ 支援した日本の視点

日本企業がこういった理念に基づいて支援を行ったのか

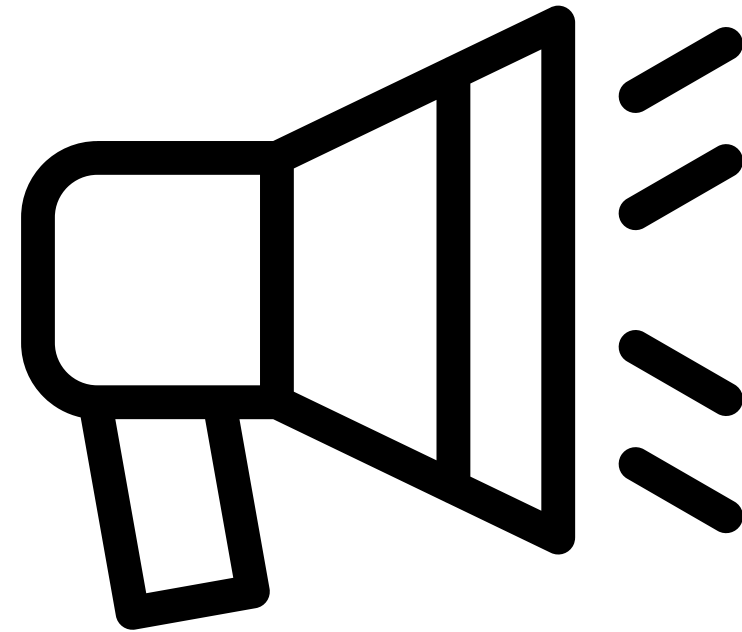
次世代の自分の取り組み

臨床データ×外交



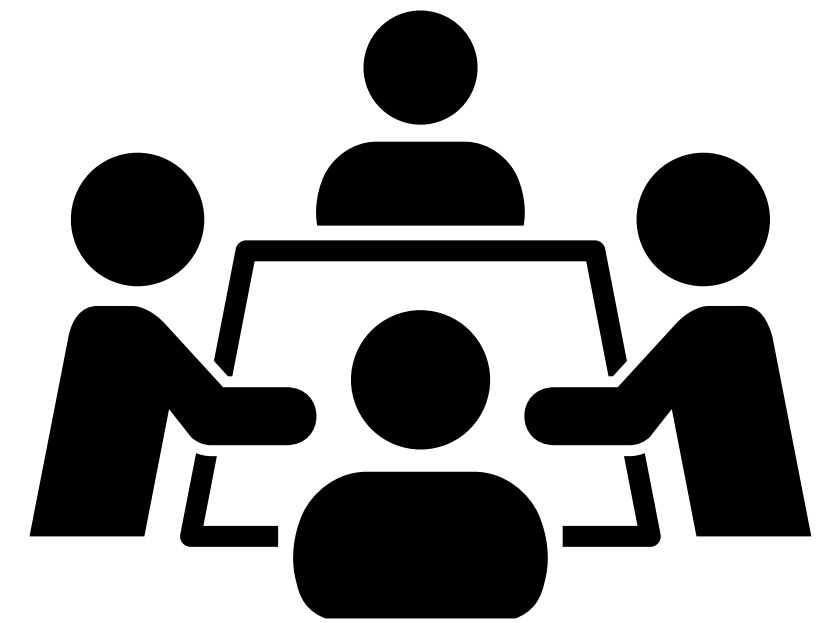
データと外交の橋渡しを
担う次世代人材の育成

現場ナラティブ外交



現地の問題を短い動画や
SNSコンテンツとして発信

学生版
国際抛出現場評価会議



実際のODA案件を教材と
して、抛出前後の評価や
ストーリー構築を模擬的
に行う